

2021 4/13

No.2136

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
—神奈川政経懇話会—



第93回選抜高校野球大会は1日、甲子園球場で決勝が行われ、東海大相模は明豊にサヨナラ勝ちし、10年ぶり3度目の頂点に立った。



## contents

視点点描	3
ワサビでまちおこし	
講演録	4
東日本大震災から10年 －福島第一原発事故被災地の現状と課題 飯舘村復興アドバイザー 前原子力規制委委員長 田中俊一	
政治双眼鏡	7
腰を据えた長期外交戦略を 米中競争の荒波を前に	
国際	8
憂慮される混乱と対立の長期化 ミャンマーのクーデター	
国際	10
新冷戦でも覇権争いでもない 米国と中国の“対立”の見方	
環境	12
再生エネは主力電源になるか 2022年度から新支援制度	
文化	14
「女将軍に美男三千人」 連載16年、マンガ「大奥」完結	
くらし2021	16
銭湯、沸き立つ人気 若い世代が魅力再発見	
アジアの風	18
途上国の期待高まる「イベルメクチン」	
NNAアジア経済リポート	19

### 事務局だより

◇2021年4月定例講演会  
4月20日（火）午後1時30分～3時  
ホテル横浜キャメロットジャパン5階「ジュビリーⅡ」  
講師は日本製鉄顧問 第92代警視総監の高橋清孝氏  
演題は「日本の危機管理の現状と課題～コロナ禍と東京2020」  
※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては開催方法を変更する場合があります。

【お知らせ】神奈川政経懇話会ではホームページと会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局☎045(226) 2121。

# 視 点 描 点



## ワサビでまちおこし

刺し身やそばに添えると、爽やかな辛みで料理のおいしさをアップさせるワサビ。チユーブ入りではなく、本ワサビをすりおろして使うのはちょっとしたぜいたくだ。しかし、県内ではまとまって生産する地域はほとんどない。そんなワサビを愛川町半原地区では、明治時代から細々ながら作り伝えてきた。この希少なワサビを

地域のまちおこしに活用しようとプロジェクトが立ち上がった。

栽培されているのは、その名ではなく、本ワサビをすりおろして「半原」種。かつては複数の生産者がいたが、現在も作り続けるのは半原地区に住む染矢敬一さん方

がほぼ全滅した。このとき、半原種が天城に運ばれて植え付けられ、病害にかかり育つたことでその名が広まったという。大正期にはやはり病害に侵された島根県のワサビ田にも運ばれた。

ワサビに詳しい岐阜大応用生物科学部の山根京子准教授によるところ、ワサビの3大品種「島根3号」「真妻」「だるま」のうち、最も広まっている「島根3号」は半原種

の花農家・五月女智一さんが、町内の農家や商店経営者、まちづくり団体などに呼び掛け、17人が参加して1月に「半原ワサビまちづくりプロジェクト」を立ち上げた。

「半原」種の大きな特長は、病気に対する強さ。明治期に軟腐病という細菌性の病気で主要産地の伊豆・天城地方（静岡県）のワサ

ビ田は2019年10月の台風19号で大きな被害を受けた。800平方メートルほどあった栽培面積はほぼ半減した。そんな状態の中で町民有志の動きを知った染矢さんは、「町内で半原種を増やし、知名度アップや町おこしにつなげてほしい」とプロジェクトに賛同。

プロジェクトでは半原種を株分けして増殖に着手し、「半原」の商標登録なども行い、地元の飲食店でワサビ料理を提供して収益を上げながら半原種を守つて増やす方針。酒かすを使ったわさび漬けや、ワサビこうじを用いた料理などさまざまな料理のアイデアを考え始めている。

（神奈川新聞社厚木支局長  
石本 健二）

種苗団体がまとめた「幻の伝説野菜」で紹介されるほど希少。このワサビの存在を知った地元・半原の花農家・五月女智一さんが、町内の農家や商店経営者、まちづくり団体などに呼び掛け、17人が参加して1月に「半原ワサビまちづくりプロジェクト」を立ち上げた。

「半原」種の大きな特長は、病気に対する強さ。明治期に軟腐病という細菌性の病気で主要産地の伊豆・天城地方（静岡県）のワサビ田は2019年10月の台風19号で大きな被害を受けた。800平方メートルほどあった栽培面積はほぼ半減した。そんな状態の中で町民有志の動きを知った染矢さんは、「町内で半原種を増やし、知名度アップや町おこしにつなげてほしい」とプロジェクトに賛同。

だが、『本家』の染矢さんのワサビ田は2019年10月の台風19号で大きな被害を受けた。800平方メートルほどあった栽培面積はほぼ半減した。そんな状態の中で町民有志の動きを知った染矢さんは、「町内で半原種を増やし、知名度アップや町おこしにつなげてほしい」とプロジェクトに賛同。